

足元の投資環境と今後の見通しについて

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)

愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)

追加型投信/内外/資産複合

2021年5月26日

平素より「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」(以下、世界のマイスター)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。「世界のマイスター」は2020年10月30日より設定・運用を開始しており、主要投資対象として「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ(JPY)」(以下、ピムコファンド)を通して運用を行っております。本レポートでは足元の投資環境と今後の見通しにつきまして、運用委託先であるピムコジャパンリミテッドのコメントをご紹介します。

今回のレポートのポイント

- 2021年2月下旬以降、米国における長期金利の上昇による株式市場の調整を受け、特に、これまでパフォーマンスの牽引役となっていたグロース色の強い銘柄群に売りが広がったことでピムコファンドのパフォーマンスも伸び悩みがみられる状況
- 急速なインフレ懸念の高まりは市場の重しとなっているものの、景気回復を妨げるにはいたらず、各地でのワクチン普及による経済活動の再開を背景に、経済成長のペースは年後半以降に加速する見通し
- かかる環境下では、景気拡大の恩恵を受ける”デジタル銘柄”や、法整備や規制の変更に伴う恩恵を受ける”グリーン銘柄”、”脱炭素・持続可能性”といった株式の投資テーマは引き続き有望な投資テーマと考えられ、市場動向を踏まえ当ファンドでは徐々に株式比率を引き上げる見込み

1. 年初来パフォーマンス: 株式市場の調整が続く中で年初来では小幅マイナス

2月下旬以降は向かい風が強まる局面

設定以降、ピムコファンドはリスク資産の上昇などを背景に安定的な上昇を実現し、2021年2月には設定来高値の水準まで上昇しました。

しかしその後、2月下旬以降に先進国の長期金利が上昇し、リスク資産が調整する局面ではピムコファンドも軟調な推移となりました。

足元では、持ち直しの動きも見られているものの、年初来のパフォーマンスは小幅なマイナスとなりました。ただし、設定来でのパフォーマンスはプラスとなっています。

ピムコファンドの純資産価格(1口当たり)と純資産残高の推移



期間: 2020年10月末～2021年5月14日

ピムコファンドの純資産価格(1口当たり)は2020年10月末を100として指数化

(※)ピムコファンドとは、「世界のマイスター」が主要投資対象としている「ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ(JPY)」のことです。

(出所)ピムコジャパンリミテッドデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

2. 足元の投資環境におけるポートフォリオ運営のポイント

1. グロース色の強い投資テーマの株式投資がマイナスに影響

2月下旬以降はポートフォリオに組み入れている株式投資テーマのうち、グリーン&デジタルなど中長期的な成長ストーリーに基づく銘柄群は、グロース株式が市場対比で出遅れたことによる影響からパフォーマンスにマイナスに影響

2. 成長の鈍化が懸念される新興国を中心に株式比率を調整

新型コロナウイルスの感染再拡大がみられ、かつインフレの進行により金融政策の転換(利上げ)を迫られている新興国については、景気の回復が先進国対比で立ち遅れる見込み。株式リスクを削減するうえで、新興国を中心に削減を実施

3. 今年後半から経済成長が加速する見直しには変化なし

インフレ主導での金利上昇には限界があると考えられる一方、ワクチンの普及と財政の後押しにより年後半から経済成長が加速する見直しは変わらず。かかる環境下では、足元の調整で投資妙味の生まれた一部の業種、銘柄の投資タイミングの見極めが重要に

(出所)ピムコジャパンリミテッド(2021年5月時点)より岡三アセットマネジメント作成

3. 足元ではグロース株式の出遅れが株式投資部分でマイナスに影響

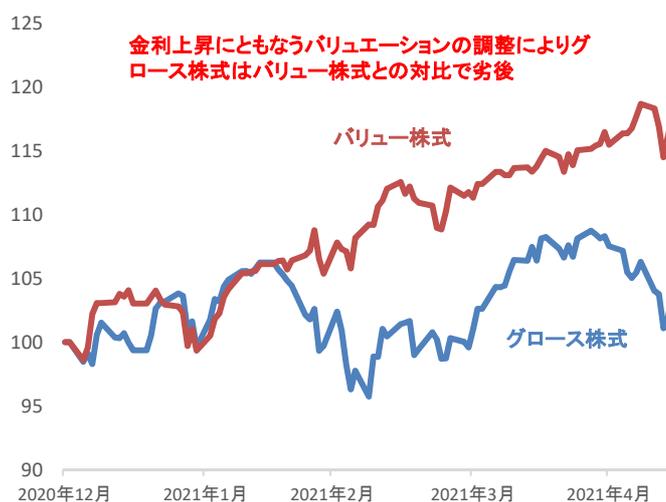
長期金利上昇への懸念を背景にグロース株式がバリュースタイル株式との対比で出遅れ

年初来、米国株式は堅調な推移を見せていましたが2月下旬の先進国の長期金利上昇を受けてこれまで市場を牽引していたテクノロジーを中心とするグロース株式に売り圧力が強まり、バリュースタイル株式との対比で劣後しています。

ピムコファンドにおいては「次世代産業2.0」など、景気サイクルの拡大局面において恩恵を受けるグロース色の強い銘柄に投資を行っていたことから、2月以降のパフォーマンスにおいては同株式の出遅れがマイナス要因となりました。

一方、足元の調整によりこれまで割高であったために組入れをしていなかった銘柄の価格が適正水準になったと判断し、一部銘柄の入替も行っています。

年初来の株式スタイル別パフォーマンス(2021年)



期間: 2020年12月末~2021年5月14日。2020年12月末を100として指数化
 使用したデータはP4下部を参照

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

4. 成長の鈍化が懸念される新興国を中心に株式比率を調整

株式リスクについては新興国株式を中心に組入比率を引き下げ

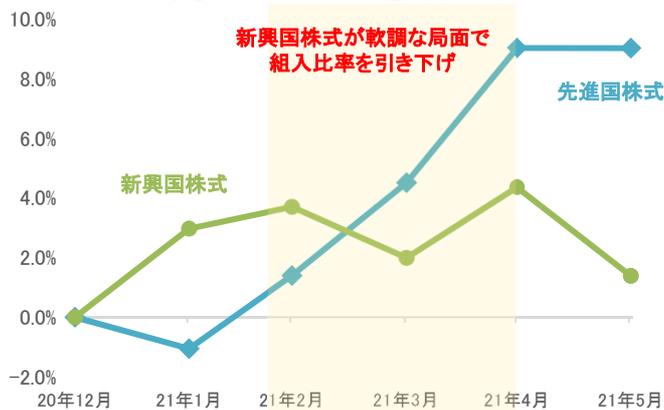
一部の新興国において新型コロナウイルスの感染再拡大がみられているほか、物価の上昇圧力が強まり金融政策の転換(利上げ)を迫られる国も出てきています。

かかる環境下、これまで想定していたよりも新興国の景気回復には幾分時間がかかる可能性をピムコでは想定しています。

株式市場においても、2月以降では新興国株式のパフォーマンスは先進国株式に劣後しています。

ピムコファンドにおいては、上記を背景として新興国株式が弱含んだ3月頃から、新興国を中心に株式比率を引き下げることで株式リスクを調整しています。

先進国株式と新興国株式の累積パフォーマンス(上)
 およびポートフォリオの組入比率(下)



21.6%	22.0%	15.0%	15.6%	16.1%	先進国株式
16.7%	16.7%	13.8%	8.0%	11.2%	新興国株式

期間: (上)2020年12月末~2021年5月14日、時点は各月末、5月は14日、パフォーマンスは2020年12月末以降の累積、使用したデータはP4下部を参照
 (下)2020年12月~2021年4月、各月末時点、
 (出所)ピムコジャパンリミテッド、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

5. 年後半から景気の弾みがつく見通しに変化なし①

企業の景況感は過去最高の水準を記録、個人消費には更なる拡大の余地も

昨年2-3月のコロナショック以降、米国を中心とした主要国による大規模な金融緩和政策と財政出動を背景として、企業による設備投資や在庫積み増しが進み、今年3月の米国ISM製造業景況感指数は37年ぶりの高水準を記録しています。

さらに、米国ではバイデン新政権が今年3月に成立させた追加経済対策への期待感や新型コロナウイルスに対するワクチン接種の広がりから、これまで遅れがみられていた同非製造業景況感指数も急反発し、過去最高の水準となりました。

米国ISM景況感指数と消費者信頼感指数の推移



期間: 2000年12月~2021年3月
 (出所)ピムコジャパンリミテッド、全米供給管理協会、The Conference Boardデータを基に岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

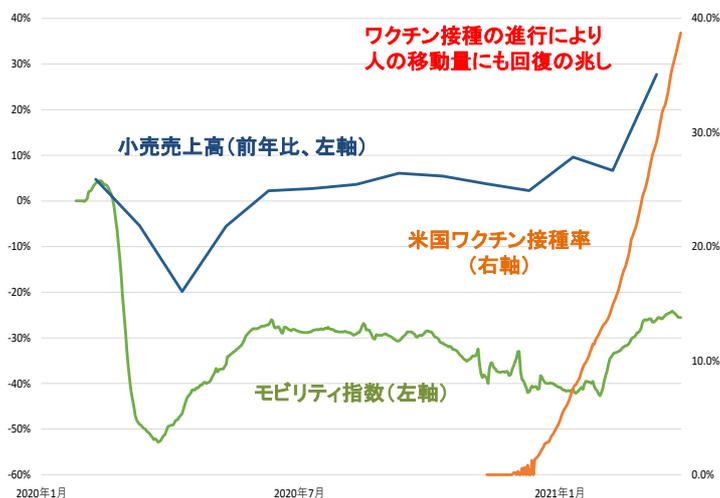
■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みには、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

5. 年後半から景気の弾みがつく見通しに変化なし②

また、回復の中心となっている米国では、消費者心理を示す消費者信頼感指数は未だコロナショック前の水準に届いていないものの、ワクチン接種の急速な広がりに伴い、人の移動量の変化を表すモビリティ指数は徐々に改善、足元の小売売上高は急反発する展開となっています。今後も政府からの追加的な財政支援や米連邦準備制度理事会(FRB)による金融緩和政策の継続が家計を下支えする見込みです。

米国の小売売上高・モビリティ指数とワクチン接種率の推移



期間:モビリティ指数は、2020年2月15日～2021年4月17日、日次データ。小売売上高(前年比)は、2020年2月～2021年3月、月次データ。米国ワクチン接種率は、2020年12月1日～2021年4月17日、日次データ

(出所)ピムコジャパンリミテッド、Google、Our World in Data、Haverデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※当資料において使用したデータについて

P.2 下段

バリュー株式:Russell 3000 Value
 グロース株式:Russell 3000 Growth

P.3 上段

先進国株式:MSCI ワールド・インデックス 新興国株式:MSCI エマージング・マーケット・インデックス

P.4

モビリティ指数:Googleが提供するCommunity Mobility Reports

上記のMSCI指数はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)
 愛称 世界のマイスター(資産成長型)/(年2回決算型)
 追加型投信/内外/資産複合

世界のマイスターの運用状況(2021年5月20日時点)

<資産成長型>



基準価額	10,353円
純資産総額	117.0億円

<年2回決算型>



基準価額	10,156円
純資産総額	49.0億円

【分配金】

第1期(2021年3月10日)	190円
-----------------	------

※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
 ※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
 ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

ピムコ・バミューダ・ダイナミック・マルチアセット・ストラテジー・ファンド・クラスJ (JPY)の状況
 (2021年4月30日時点)

<資産別構成比率>

種別	比率
債券	70.4%
国債・政府機関債	56.7%
物価連動国債	2.1%
政府系モーゲージ証券	—
非政府系モーゲージ証券	—
投資適格社債	9.9%
ハイ・イールド社債	1.6%
新興国債券	—
地方債	—
その他	0.1%
株式	27.3%
米国株式	10.2%
先進国株式(米国を除く)	5.9%
新興国株式	11.2%
商品等	2.3%
金	2.3%
合計	100.0%

<国・地域別構成比率>

国・地域	比率	うち債券	うち株式
米国	66.9%	54.4%	10.2%
日本	6.7%	1.5%	5.2%
中国	6.6%	—	6.6%
オーストラリア	5.7%	5.7%	—
カナダ	5.1%	4.2%	0.9%
ドイツ	5.0%	4.5%	0.5%
台湾	4.4%	—	4.4%
フィンランド	2.7%	—	2.7%
韓国	1.3%	—	1.3%
デンマーク	0.9%	—	0.9%
その他	-5.1%	0.1%	-5.3%
合計	100.0%	70.4%	27.3%

<通貨別構成比率
 (主要5通貨、円ヘッジ後)>

通貨	比率
日本円	100.9%
台湾ドル	4.8%
香港ドル	3.5%
米ドル	-4.3%
ユーロ	-7.0%
その他	2.0%
合計	100.0%

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※ロングポジションとショートポジションを合算したネットの比率を記載しています。

※国・地域は、Bloombergが判定したリスク所在国を表示しています。
 ※米国については、債券、株式以外に商品等が含まれるため、債券、株式の合計値とは一致しません。
 ※国・地域別構成比率および通貨別構成比率は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※ロングポジションとショートポジションを合算したネットの比率を記載しています。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、「PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での岡三アセットマネジメント株式会社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。



PIMCOダイナミック・マルチアセット戦略ファンド(資産成長型)/(年2回決算型)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内外の株式、債券、通貨、商品および不動産関連の証券等価値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。為替変動リスクを完全にヘッジすることはできないため、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「債券価格変動リスク」、「商品価格変動リスク」、「不動産関連の証券の価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」、「カウンターリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンド目的・特色」、「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限2.2%（税抜2.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.848%（税抜1.68%）

※当ファンドが投資対象とする投資信託証券の運用報酬はかからないため、実質的な運用管理費用（信託報酬）も上記と同じとなります。

- その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産にご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
東洋証券株式会社	関東財務局長(金商)第121号	○			○

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)